

令和5年度 中国四国地域飼料増産推進研修会 (概要)

1. 日時: 令和5年12月11日(月) 13:30~17:00
2. 開催場所: 岡山県農業共済会館 6階 大会議室
3. 主催: 中国四国農政局、(一社)日本草地畜産種子協会
4. 内容:

【講演】

- (1) 飼料生産組織の現状と課題、今後の展開について
就実大学 経営学部 教授 千田 雅之 氏
- (2) 飼料作における農作業安全について
農研機構 農業機械研究部門 安全検査部 部長 志藤 博克 氏

【事例発表】

- (1) 広島県庄原市におけるスマート農業技術を活用した
持続可能な地域資源循環型農業の実証について
広島大学 大学院統合生命科学研究科 教授 杉野 利久 氏
- (2) 島根県における飼料生産組織の取組事例
ライスフィールド有限会社 代表取締役 吉岡 雅裕 氏

【情報提供】

- 協会の飼料増産に係る取組について
(一社)日本草地畜産種子協会

【意見交換】

- (1) 話題提供
スマート農業技術を活用した青刈りとうもろこし生産の実践について
(株)vegeta 代表取締役社長 谷口 浩一 氏
- (2) 総合質疑

5. 参集範囲: 生産者、農業関係団体、県、市町村、試験研究機関等
6. 参加人数: 70名程度



岡山県農業共済会館において、対面方式での座学研修を開催しました。
国産飼料増産の鍵となる飼料生産組織の経営面での課題や耕畜連携を推進していく上での課題、今後の対応についての講演の後、実際の飼料生産中の事故事例を交えた農作業安全についての講演、広島県及び島根県におけるスマート農機を活用した耕種農家による飼料生産の取り組みの紹介や日本草地畜産種子協会の飼料増産の取組について情報提供があり、最後に総合質疑による意見交換を行いました。

畜産及び耕種の関係者に多数ご参加いただき、中国四国地域の国産飼料の増産に向けて、具体的な課題や対応方向などを共有することができました。

